授業科目名	動物愛護・適正飼養実習Ⅲ		科目コード	261059	
開講クラス	動物看護師学科	コース	動物看護師コース	学　年	３年
担当教員	川越瞳				
	実務経験教員（ 有 ・ 無 ） 実務経験内容 動物病院にて５年、動物の診療補助、看護に従事				
開講時期	前期・後期・通年・特別講義・その他			授業コマ数	45 時間
	必　須 ・ 選　択 ・ 選択必須			単　位　数	１単位
使　用 テキスト１	書　名				
	著　者				
	出版社				
使　用 テキスト２	書　名				
	著　者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他（　　）				

＜授業の目的・目標＞
動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する。

＜授業の概要・授業方針＞
３年間接してきた学校動物たちが、今後必要だと考える飼育管理、健康管理を積極的に実施していく。また、災害が起こった場合の学校飼育動物の支援について、どのような準備が必要か提案できる。

＜成績基準・評価基準＞
別紙参照

＜使用問題集・注意事項＞

＜授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他＞
愛玩動物学、人と動物の関係学

授業科目名	動物愛護・適正飼養実習Ⅲ	
3H/回	授　業　内　容	備　考
1	シニア猫の飼育管理、健康管理の改善点①	
2	シニア猫の飼育管理、健康管理の改善点②	
3	シニア猫の飼育管理、健康管理の改善点③	
4	うさぎの飼育管理、健康管理の改善点①	
5	うさぎの飼育管理、健康管理の改善点②	
6	うさぎの飼育管理、健康管理の改善点③	
7	デグーの飼育管理、健康管理の改善点①	
8	デグーの飼育管理、健康管理の改善点②	
9	デグーの飼育管理、健康管理の改善点③	
10	ハムスターの飼育管理、健康管理①	
11	ハムスターの飼育管理、健康管理②	
12	ハムスターの飼育管理、健康管理③	
13	災害を想定した動物たちの管理①	
14	災害を想定した動物たちの管理②	
15	まとめ	

別紙「動物愛護・適正飼養実習Ⅲ」学習成果指標

評価要素項目			実習目標	学習成果評価基準			
				4	3	2	1
知識と理解		動物の健康管理についてレポート	健康チェックの方法やお手入れ方法を個別性をふまえながらレポートにまとめる	健康チェックの方法やお手入れ方法を個別性をふまえながら細かく丁寧に全てまとめている。注意点や工夫している点なども全て細かく記入できている。	健康チェックの方法やお手入れ方法を細かく丁寧に全てまとめられているが、工夫点などはあまり記入されていない。	健康チェックの方法やお手入れ方法をが足りない、または間違えている部分がある。	レポートを提出していない。
汎用的技能		自己評価の内容	実習を振り返り、身だしなみ、実習目標の達成、実習内容の理解、積極的な取り組みなどについて、客観的な自己評価を行っている。	自己評価が客観的で正しく行われており、担当教員による評価と相違ない。	自己評価は正しく行われているが、担当教員による評価とやや相違がある。	自己評価がやや主観的である。	実習後の自己評価はいつも同じで、担当教員による評価と大きく離れている。
職務上の技能	専門実践技能	動物種に合った飼育方法	動物種に合った正しい飼育方法を行い、時間内に終了できる。	動物種に合った飼育方法を行い、更に良い飼育方法を模索し、環境づくりに取り組んでいる。また、時間内に終了し、他の動物達の飼育にも積極的に参加してい	動物種に合った正しい飼育方法を行っている。また、時間内に作業内容を終了している。	動物種を考えず、決められた作業のみ行っている。また、時間内に終わらないこともある。	決められた作業を行わず、動物に危険が伴う。また、時間内に終わらない。
	対人技能	実習中の態度、身だしなみ	実習中は教員の指導を素直に聞き、実践できる。教員や他の学生に対する言葉遣いも適切で、実習にふさわしい身だしなみができている。	実習中に指導されたことは素直に実践し、態度・言動が適切である。常に実習にふさわしい身だしなみができている。	指導されたことは素直に実践している。	教員の指示どおりに行わない面があり、言動面も指導を要する。	教員の指導を素直に聞かず、反抗的な態度をとることがある。また、実習着を忘れたり、身だしなみも不適切である。
	分析技能	レポートの提出状況、内容	実習後のレポートに、実践した内容だけでなく反省や改善点、問題点がわかりやすくまとめられている。また、期限に遅れることなく提出できる。	実習で実践した内容が細かく丁寧にまとめられており、今後の自分の課題が分析されたレポートである。毎回、遅れることなく提出している。	レポートの内容はわかりやすいが、提出期限に遅れることがある。	レポートの内容や今後の課題がやや不明瞭である。期限に遅れることが多いが、提出はされている。	レポートをほとんど提出しない。
	管理・指導技能	積極性	様々なことに興味を持ち、意欲的、積極的に実習に取り組んでいる。また、わからない学生にも優しく教えることができる。	積極的に実習に取り組み、疑問に思ったことはすぐに質問し解決につなげることができている。また、他の学生にも優しく教えることができる。	真面目に取り組んではいるが、積極的に動けない面がある。学生同士で教える際は、丁寧に説明できている。	やや受け身の態度で実習に取り組んでいる。他の学生への説明もやや不足している。	実習中は常に受け身で、自分から実践しようとしない。うまくできないことがあっても、自ら練習しようとしない。
自律性と責任感		責任感、行動力	動物看護師になることを目標として、責任感をもって実習に取り組み、どのように自己研鑽に取り組むかを明確にしている。	言われたことは最後まで責任を持ってやり遂げ、動物看護師になることを目標として、自己の成長を意識しながら、自分で考え行動できている。	動物看護師になることを目標として、自分で考えて行動しようとする姿勢は見られる。	動物看護師になることを目標とはしているが、自分の考えで行動できないことがある。	自己の職業観が曖昧なため、責任感や自律性に欠けた行動が頻繁にみられる。
倫理観とプロ意識		職業倫理の理解	職業人として社会的なマナーや言動を意識しながら行動できる。	動物看護の倫理綱領を意識しながら、実習における目的・目標を念頭に、社会的・職業的倫理に対して関心を持って取り組んでいる。	一般的な社会的・職業的倫理は理解できている。	社会人になるという意識はあるが、社会的・職業的倫理に対しての関心が低いため、やや理解不足である。	社会人になるという意識が低く、社会的・職業的倫理に対しての関心が低い。

※評価方法
上記8項目の基準の合計点数により、以下のように評価する。
合計32点満点中　25～32点が優、22～24点が良、19～21点が可、18点以下が不可
不可の場合は、著しく評価が低い項目に合わせた課題を与え、提出されたその内容が適切な場合は可の評価を与える。